

連携団体

【広島県】 三原市、尾道市、府中市、竹原市・世羅町、神石高原町
【岡山県】 笠岡市、井原市

(1) 取組の背景、経緯

- 専門的な知識が必要となる障がい児保育等の研修の実施に当たっては、当該分野を研究する大学教授等が講師となり、最新の研究内容や子どもを取り巻く状況を、現場の職員に伝え、実践できるよう支援することが求められる。福山市では、そうした専門人材のリソースには限りもあることから、一部の研修について、圏域市町の職員も対象としてきたが、新たに、全体的に整理し、更なる広域化を検討するもの。
- 近年、支援が必要な幼児は増加傾向にある中で、当該幼児を教育・保育するためには、保育士等の加配が必要となることもあり、現場の人材不足が課題となっている。

(2) 取組の内容

- 人材確保に向けた幼児教育・保育現場の魅力向上
圏域市町の学生を対象としたセミナーの実施や出前講座の共通教材の作成。
- 幼児教育・保育に関する人材育成プログラムの体系的整理
各市町で独自に行う幼児教育・保育に関する人材育成プログラムを体系化し、専門人材の効率的な活用等の視点で、研修を広域化。次年度以降更なる研修の広域化を検討。
- 専門の相談人材の配置による安心して働ける環境づくり
カスハラに関する圏域共通の対応マニュアルの作成や、専門の相談人材の配置の検討。

圏域における
人材育成・確保パッケージ

備後圏域保育施策検討会議(7市2町)
による事業企画・推進

人材確保

魅力発信・出前講座

- ・ 保育の現場体験イベント
- ・ 共通教材の活用

人材育成

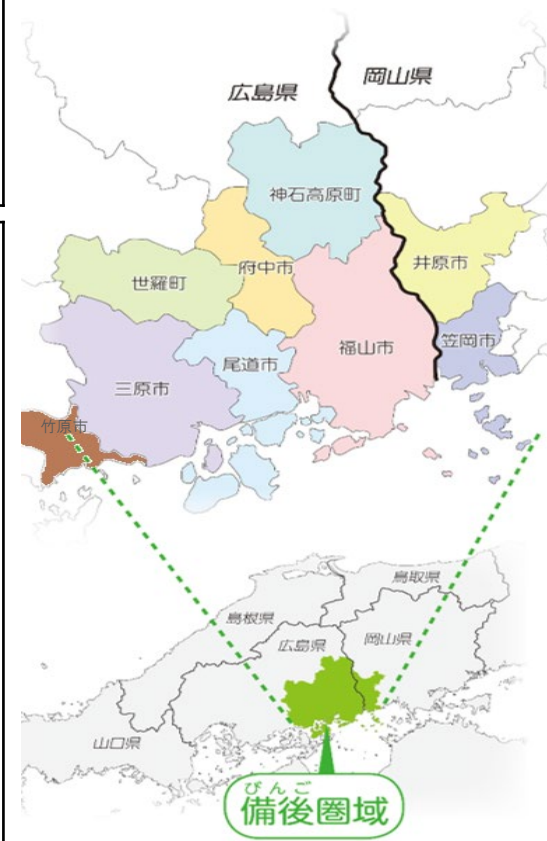
研修の広域化

- ・ 障がい児保育 等

人材定着

専門人材配置

- ・ カスハラ相談
- ・ 対応マニュアル



「備後圏域保育施策検討会議」の枠組みの活用を前提に...

(3) 今後の展望

- 人材確保・人材育成・人材定着の取組について、細かな担当者会の開催も検討しながら、引き続き各市町との連携を図りながら、圏域全体で教育・保育の質の向上につなげていく。
- 各市町の人員や業務量、財政状況は年々余裕のない状況である。重複する取組や事業をスマート化し、相互に補完しあうことで、既存の限られた財源等のリソースのままでも圏域全体の教育・保育の質の向上につなげていきたい。